

# FMV

B5FY-5531-01 Z0

FMVシリーズ

# オンラインマニュアル

---

**カラーCRTディスプレイ15**  
(FMV-DP849V)

FUJITSU

# 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

## 保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

- ・ 修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。

（詳しくは、保証書をご覧ください。）

- ・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年間です。
- ・ 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。



## 警告ラベル／注意ラベルについて




本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください

# 安全上のご注意

## 安全にお使いいただくための絵記号について

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解の上、本文をお読みください。

 <b>警告</b>	 <b>注意</b>
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表わす絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

記載されている項目には、購入された製品にあてはまらないものも含まれています。

## ⚠ 警告



### 万一、異常が発生したとき

- 万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
煙が消えるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.17）、またはご購入元に修理をご依頼ください。  
お客様ご自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.17）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

- 機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.17）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 近くで雷が起きた時は、電源コードをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

## ⚠ 警告



- 機器を勝手に分解したり、改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

- 機器本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理は故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.17）、またはご購入元にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



- 機器の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。

火災・感電の原因となります。

- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

火災・感電の原因となります。

- 機器本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。



- 風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

## 警告



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
  
火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
  
感電の原因となります。
- 添付の電源コード以外は使用しないでください。  
また、添付の電源コードは他の製品に使用しないでください。  
  
火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。  
  
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。  
  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 電源プラグの刃、および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。  
  
そのまま使用すると、火災の原因となります。



- 電源プラグをコンセントに繋ぐ前に、必ずアースを接続してください。また、アースを外すときは、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。  
  
感電・火災の原因となることがあります。

## 警告



- 取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が悪く飲んでくることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

- 梱包に使用しているビニール袋はお子様が悪く口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



- ディスプレイに何も表示されないなどの故障状態で使用しないでください。  
故障の修理は故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→P.17）、またはご購入元にご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。

- 開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

## ⚠注意



- 機器の開口部（通風口など）をふさがないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。



## ⚠注意



- 機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

- 長時間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災・感電の原因となることがあります。



- 健康のため、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。



- 使用中の機器は布でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ディスプレイ装置を使用する場合は、安定したところに据えつけてください。

転倒して、けがの原因となることがあります。

- ディスプレイ装置など、重量のある機器を動かす場合は、必ず2人以上で行ってください。

けがの原因となることがあります。

# はじめに

このたびは、弊社の高解像度カラーCRTディスプレイ15（FMV-DP849V）（以降、本製品）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

2004年11月

## 梱包物を確認してください

- カラー CRT ディスプレイ 15 (FMV-DP849V)
- 電源コード
- AC 変換プラグ（平行2極接地用口出線付変換プラグ）
- チルト台
- 保証書
- 取扱説明書

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



本製品はJEITA『PCグリーンラベル制度』の審査基準（2004年度版）を満たしています。詳細は、WEBサイト <http://www.jeita.or.jp> をご覧ください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。  
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

本製品は国内での使用を前提に作られています。

海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本書中の会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2004

## 使用上のご注意

- ・長時間ディスプレイを見続けると、目が疲れるので適度に休憩をとるようにしてください。
- ・極端に明るい画面を長時間表示したりすると、色純度が劣化する場合があります。この場合は、コントラスト調整またはブライトネス調整で輝度を下げてください。
- ・ゴムやビニール製品を長時間接触させておかないでください。カバーの表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・画面の広い面積にわたり、平行線を並べて表示している場合、または2～3ドットおきのドットを格子状に配置して表示している場合、「モアレ」（干渉縞）が発生することがあります。「モアレ」（干渉縞）の少ない表示でお使いください。  
または、モアレが目立たなくなるように調整してお使いください。  
調整によっては画像が揺れる場合がありますが故障ではありません。  
最適になるように調整してください。
- ・インタレースで画面表示する場合、表示するパターンによっては画面がちらつくことがあります。ノンインタレースでの画面表示のほうが画像品質が優れていますので、パソコン本体から出力する信号の設定をノンインタレースにして使用することをお勧めします。
- ・テレビやラジオ、衛星放送チューナなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・本製品の近くで、携帯電話、トランシーバー等の電波を発生する装置をご使用になりますと、画面が乱れる場合があります。本製品に影響をあたえない所でご使用ください。
- ・ブラウン管表面は傷がつきやすいので、硬いものや先の尖ったもので触れたりこすったりしないでください。
- ・電源投入時に、画面が揺れてブーンと音がしますが、故障ではありません。
- ・ディスプレイケーブル、および電源コードを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・同一画面を長時間表示し続けると、ブラウン管の「蛍光面焼け」や「輝度低下」が発生場合があります。  
パソコン本体の省電力機能、またはスクリーンセーバーの使用をおすすめします。
- ・長時間連続でお使いになる場合や、通常の使用環境と異なった使い方をされる場合には、ご購入元にご相談ください。

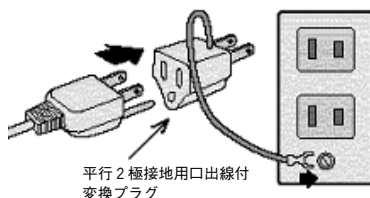
- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。  
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。  
なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや期間中の無料修理をお約束するものではありません。  
長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。  
また、製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。  
部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。
- ・画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。  
市販のクリーナーは、以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合があります。
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・研磨材を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・化学ぞうきんなど

## 電源プラグとコンセントの形状について

本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「平行2極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行2極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。

「平行2極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行2極接地用口出線付変換プラグ」を取り付けてください。このとき、接地用口出線は必ず接地極と接続してください。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。



本文中では、次のように略して表記します。

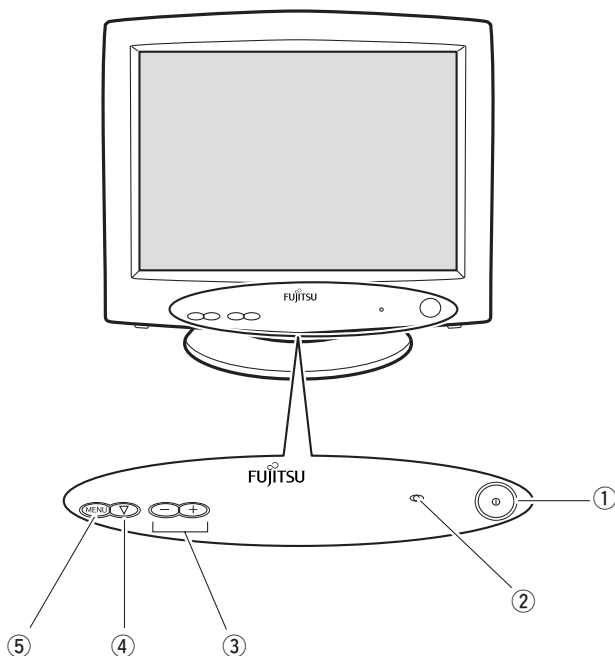
名称	本文中の表記
平行2極接地極付プラグ	電源プラグ
平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行2極接地用口出線付変換プラグ	A C変換プラグ

# 目 次

安全にお使いいただくために .....	i
保証書について .....	i
警告ラベル／注意ラベルについて .....	i
安全上のご注意 .....	ii
はじめに .....	ix
使用上のご注意 .....	xi
電源プラグとコンセントの形状について .....	xii
各部の名称と働き .....	1
チルト台の取り付け方法 .....	3
接続方法について .....	4
O S D（On Screen Display）の操作方法 .....	5
D D C（Display Data Channel）について .....	11
省電力機能 .....	11
ドライバ（I N Fファイル）のインストールについて .....	12
お手入れ .....	13
故障かな…とお考えになる前に .....	14
お問い合わせ先 .....	17
仕 様 .....	18
標準表示仕様 .....	19
ディスプレイケーブル .....	20
環境への配慮のお知らせ .....	21

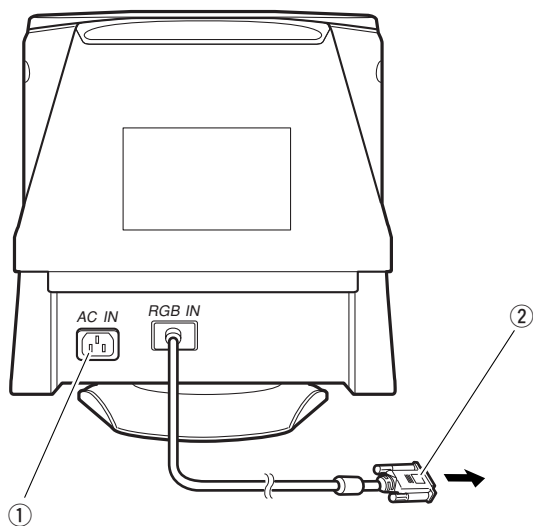
## ☆ 各部の名称と働き ☆

### < 前面 >



- ① 電源スイッチ (⓪)      押すと電源が入ります。電源を切るときは、再度押してください。
- ② 電源表示ランプ (Ⓜ)      電源が入ると『緑色』に点灯します。  
省電力時は『オレンジ色』に点灯します。
- ③ ー、＋ キー      メニュー画面表示時は、調整項目や調整内容を選択するときに押します。調整画面表示時は、調整値を変更するときに押します。  
また、メニュー画面、調整画面が表示されていないときに、ーボタンを押すとコントラストを調整する画面が表示され、＋ボタンを押すとブライトネスを調整する画面が表示されます。
- ④ ▼キー      メニュー画面で調整項目や調整内容を決定するときに押します。
- ⑤ MENU キー      メニュー画面を表示するときや消すときに押します。

<背面>



- ① 電源コネクタ（AC IN）電源コードを接続します。
- ② ディスプレイケーブル パソコン本体の MONITOR コネクタへ接続します。

上記の接続については、『接続方法について』の項を参照してください。

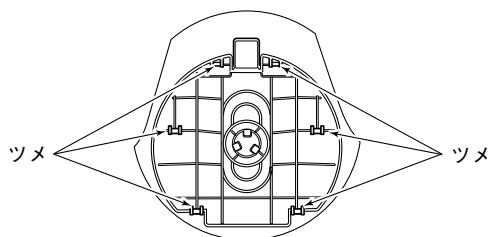


## ☆ チルト台の取り付け方法 ☆

### ⚠ 注意

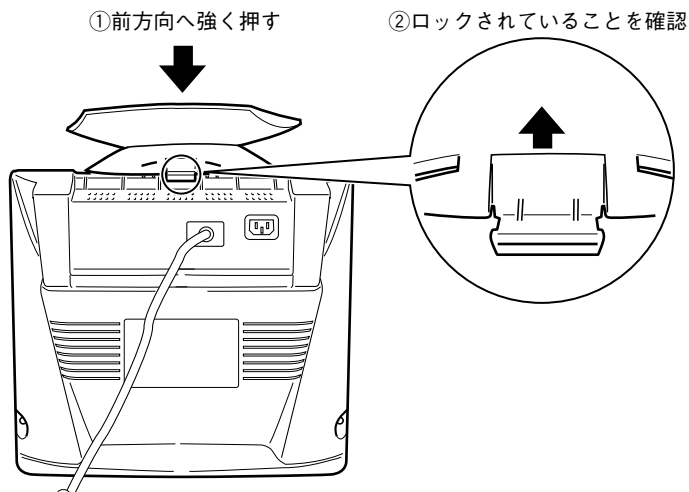
本作業は、安定した十分な広さの台上または床で行ってください。  
下に布を敷くなどして、装置に傷がつかないようにしてください。

- (1) 本装置を上下反転させ、チルト台のツメを装置のスロット（×6箇所）へ入れます。



- (2) 装置が動かないように固定して、チルト台を「カチッ」と音がするまで前方向に強く押します（図中の①）。

- (3) ラッチがロックされていることを確認します（図中の②）。



## ☆ 接続方法について ☆

### ⚠ 注意

パソコンと本製品の両方の電源スイッチを切ってから接続してください。接続するパソコン本体の取扱説明書も参照してください。

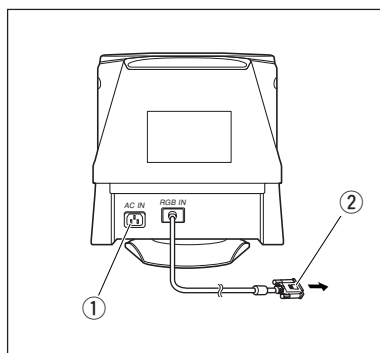
- ・ 添付の電源コードを本製品背面の電源コネクタ (AC IN) ①に接続し、コンセントまたはパソコン本体に添付のコンセント変換コネクタを用いてパソコン本体のアウトレットへ接続します。

### ⚠ 警告

本製品には、添付の電源コードを使用してください。

また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

- ・ ディスプレイケーブル②を、パソコン本体の MONITOR コネクタに接続します。





## OSD（On Screen Display）の操作方法



### ●OSDによるメニュー画面を表示するには…

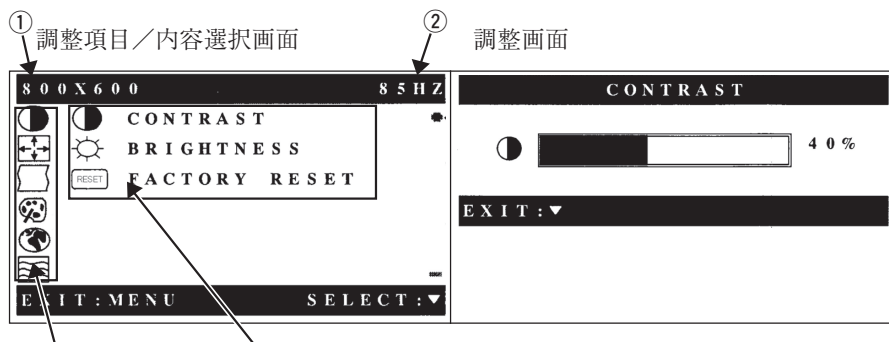
MENU, 一, 十のいずれかのキーを押してください。

- ・MENUキーを押した場合  
調整項目選択画面が表示されます。
- ・一キーを押した場合  
コントラスト調整画面が表示されます。
- ・十キーを押した場合  
ブライトネス調整画面が表示されます。

調整方法については、「各調整機能について」をご覧ください。

### ●メニュー画面の遷移について

- ・調整項目の選択  
一、十キーを押すと、カーソル（黄色塗りつぶし部）が移動するので、調整項目を選択します。次に▼キーを押すと調整項目が決定され、カーソルが調整内容選択画面に移動します。
- ・調整内容の選択  
一、十キーで調整内容を選択します。▼キーを押すと調整内容が決定され、調整画面に移行します。
- ・調整  
一、十キーで調整を行います。（キーを操作した時点で調整値は記憶されます。）  
▼キーを押すと調整内容の選択画面に戻ります。  
MENUキーを押すと調整項目選択画面に戻ります。



調整項目選択      調整内容選択

① 現在表示している解像度が表示されます。

② 現在表示している表示モードのリフレッシュレートが表示されます。

## ●メニュー画面の消去

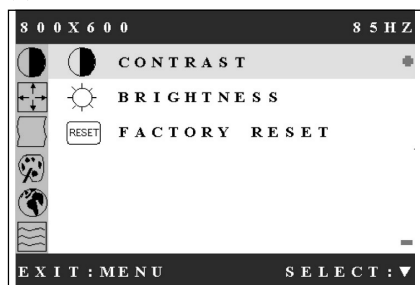
- ①調整項目選択画面で **MENU** キーを押すとメニュー画面は消えます。
- ②最後のキー入力から約 15 秒後、自動的に消えます。
- ③表示モード変更時、省電力モード移行時等、表示画面が消去（MUTE）されると、メニュー画面も消えます。

## ●各調整機能について

### 注意

- 特に注意書きのない調整内容は、各表示モードごとに調整値が記憶されます。
- 「FACTORY RESET」、「RESET」機能は、本製品に登録されている 10 種類の工場設定表示モードに対して有効となります。（19 ページの「標準表示仕様」を参照してください。）

### (1)輝度調整

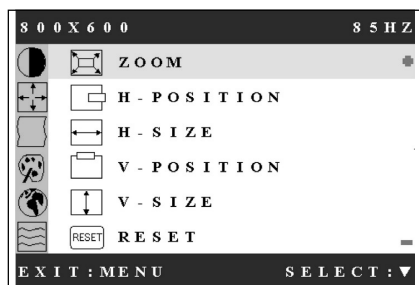


- ①一、十キーで調整する内容を選択後、▼キーで決定します。
  - (a) CONTRAST … コントラスト調整
  - (b) BRIGHTNESS … ブライツネス調整
  - (c) FACTORY RESET … ファクトリーリセット機能
- ②(a)、(b)を選択した場合  
一、十キーで最適な画面に調整してください。
- ③(c)を選択した場合  
一、十キーで“YES”または“NO”を選択して、▼キーを押してください。
  - ・“YES”選択の場合  
現在表示している表示モードの調整値が工場設定値に戻ります。ただし、以下の項目は除きます。  
(回転歪み、画面色調整、言語選択、メニュー画面の位置、INPUT LEVEL)
  - ・“NO”選択の場合  
現在の調整値のまま、調整内容選択画面に戻ります。

### 注意

- コントラスト、ブライツネスの調整値はすべてのモードで共通です。
- コントラスト調整画面で 一 キーと 十 キーを同時に押すと、コントラスト調整値は工場設定値（100%）に戻ります。
- ブライツネス調整画面で 一 キーと 十 キーを同時に押すと、ブライツネス調整値は工場設定値（50%）に戻ります。

## (2)画面サイズ、位置調整



①一、＋キーで調整する内容を選択後、▼キーで決定します。

(a) ZOOM…………… 縮小／拡大調整

(b) H-POSITION …… 水平位置調整

(c) H-SIZE …………… 水平サイズ調整

(d) V-POSITION …… 垂直位置調整

(e) V-SIZE …………… 垂直サイズ調整

(f) RESET …………… リセット機能

②(a)～(e)を選択した場合

一、＋キーで最適な画面に調整してください。

③(f)を選択した場合

一、＋キーで“YES”または“NO”を選択して、▼キーを押してください。

・“YES”選択の場合

現在表示している表示モードの(a)～(e)の項目が、工場設定値に戻ります。

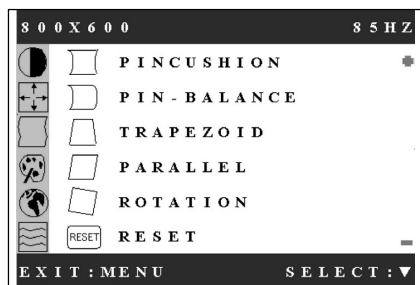
・“NO”選択の場合

現在の調整値のまま、調整内容選択画面に戻ります。

### 注意

ZOOM を調整すると、H-SIZE、V-SIZE の調整値は自動的に変更されます。

### (3)画面歪み調整



①一、＋キーで調整する内容を選択後、▼キーで決定します。

(a) PINCUSHION ……………

サイドピンクッション歪み調整

(b) PIN BALANCE …… 弓型歪み調整

(c) TRAPEZOID …… 台形歪み調整

(d) PARALLEL …… 平行四辺形歪み調整

(e) ROTATION …… 回転歪み調整

(f) RESET …………… リセット機能

②(a)～(e)を選択した場合

一、＋キーで最適な画面に調整してください。

③(f)を選択した場合

一、＋キーで“YES”または“NO”を選択して、▼キーを押してください。

・“YES”選択の場合

現在表示しているモードの(a)～(d)の項目が、工場設定値に戻ります。

(e)回転歪みは工場設定値に戻りません。

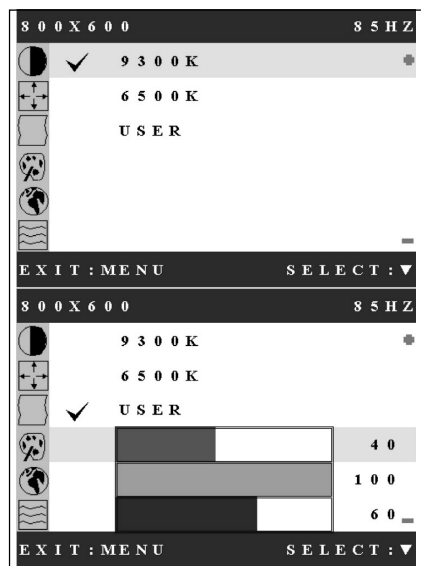
・“NO”選択の場合

現在の調整値のまま、調整内容選択画面に戻ります。

### 注意

- 回転歪みの調整値はすべてのモードで共通です。

#### (4)画面色調整



#### 注意

画面色調整はすべての表示モードで共通です。

#### (5)言語選択



#### 注意

言語の設定は各表示モードで共通です。

①一、十キーで表示色を選択後、▼キーで決定します。

(a) 9300K …… 本製品の標準の設定です。

(b) 6500K …… 9300K よりも少し赤みがかった色です。

(c) USER …… ユーザー調整値

一、十キーで調整する色を選択し▼キーで決定後、一、十キーで最適な色に調整してください。

①一、十キーでメニュー画面の言語を選択後▼キーで決定します。

(a) ENGLISH …… 英語

(b) DEUTSCH …… ドイツ語

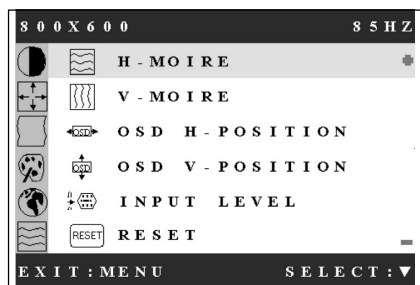
(c) FRANÇAIS …… フランス語

(d) ESPAÑOL …… スペイン語

(e) ITALIC …… イタリア語

標準は(a)ENGLISH 英語に設定されています。

## (6)その他



①一、＋キーで調整する内容を選択後、▼キーで決定します。

- (a) H-MOIRE …………… 水平モアレを目立たなくします。
- (b) V-MOIRE …………… 垂直モアレを目立たなくします。
- (c) OSD H-POSITION …… メニュー画面の水平位置を調整します。
- (d) OSD V-POSITION …… メニュー画面の垂直位置を調整します。
- (e) INPUT LEVEL …… ビデオ信号の電圧振幅を選択します。
- (f) RESET …………… リセット機能

②(a)～(d)を選択した場合

一、＋キーで最適な画面に調整してください。

③(e)を選択した場合

一、＋キーで0.7Vp-pまたは1.0Vp-pを選択後、▼キーを押してください。  
最良の状態でご使用いただくため、通常は0.7Vp-pで使用してください。  
(本製品は0.7 Vp-pが標準となっています)

④(f)を選択した場合

一、＋キーで“YES”または“NO”を選択して、▼キーを押してください。

・“YES”選択の場合

現在表示している表示モードの(a)(b)の調整値が、工場設定値に戻ります。  
(c),(d),(e)の項目は工場設定値に戻りません。

・“NO”選択の場合

現在の調整値のまま、調整内容選択画面に戻ります。

## 注意

- モアレの調整値を大きくすると、画面が揺れたり、文字がボケることがあります。
- OSD H-POSITION、OSD V-POSITION、INPUT LEVELの設定は各表示モードで共通です。
- メニュー画面の水平／垂直位置調整値は、電源再投入時に工場設定値（50％）に戻ります。



## ☆ DDC (Display Data Channel) について ☆

本製品は、VESA 仕様の DDC1/2B に対応しております。

この機能をサポートしたパソコン本体に接続することで、自動的に最適なディスプレイ設定を行う Plug & Play 機能を実現できます。

## ☆ 省電力機能 ☆

- 本製品は省電力機能をもっており、パソコン本体の制御に従って省電力モードで動作します。「POWER SAVING」のメッセージが一時表示され、省電力モードに移行します。MENU、▼、一、+ のいずれかのキーを押すことにより、そのメッセージを再表示することができます。省電力機能の詳細はパソコン本体の説明書をご覧ください。なお、本製品の省電力機能が働いているとき、電源表示ランプは「オレンジ色」に点灯し、画面は表示しません。
- パソコン本体側で ACPI\*の設定が高度（ACPI S3）に設定されている場合、省電力時にはディスプレイの電源が供給されなくなりますので、電源表示ランプが消灯します（電源コードをパソコン本体のアウトレットに接続している場合）。  
\*：ACPI とは「Advanced Configuration and Power Interface」の略で、パソコン本体に接続した周辺機器の電力管理まで OS で制御する電力管理の規格です。詳細はパソコン本体の説明書をご覧ください。
- ディスプレイケーブルを接続しないで本製品の電源を入れた場合は、「CHECK SIGNAL CABLE」のメッセージが点滅表示されます。



## ドライバ（INF ファイル）のインストールについて



パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバ（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一旦「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバのダウンロード／インストールを行ってください。

### POINT

- ドライバのインストールを行わずに、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用になることもできます。ただし、最適な画面表示を行なうために、ドライバをインストールしてご使用いただくことをお勧めします。
- パソコン本体に、既に本製品のドライバ（INF ファイル）がインストールされている場合は要求されません。

### ●最新の INF ファイルをダウンロードする

最新のドライバ（INF ファイル）は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) よりダウンロードできます。

お使いの OS にあわせた INF ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロード手順については、画面の指示に従ってください。

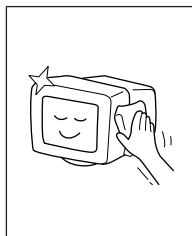
### 注意

- お使いの OS によっては、対応する INF ファイルが存在しない場合があります。その場合、このまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。
- 本製品の INF ファイルは、「FMV-DP849W」用のものをダウンロードしてください。

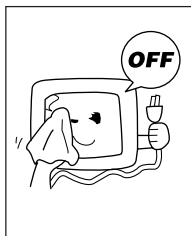
### ●ドライバをインストールする

ダウンロードしたファイルをご覧になり、ドライバをインストールしてください。

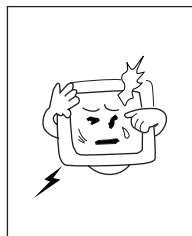
## ☆ お手入れ ☆



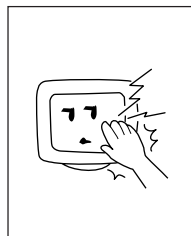
カバーの汚れは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。



ディスプレイの汚れは、柔らかい布かティッシュペーパーで拭いてください。



ディスプレイは傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。



ディスプレイに手を触れると、弱い電気を感じることがあります。これはブラウン管の静電気で人体には影響ありません。

### 〈重要〉

市販クリーナーは、アルコール成分などを含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。



## 故障かな…とお考えになる前に



症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画像が表示されない (電源ランプ消灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードが正しく接続されていない</li> <li>●電源スイッチが入っていない。</li> <li>●省電力状態になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ●電源コードを本製品およびパソコン本体に正しく接続してください。</li> <li>→ ●電源スイッチを正しく入れてください。</li> <li>→ ●キーボードのどれかのキーを押すか、マウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。</li> </ul>	<p>4 パソコン 本体の取 扱説明書</p> <p>1</p> <p>11 パソコン 本体の取 扱説明書</p>
画像が表示されない (電源ランプが緑色に点灯)	→ ●明るさの調整が適切でない	→ ●コントラスト、ブライتنネスを操作してみてください。	6
画像が表示されない (電源ランプがオレンジ色に点灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●省電力状態になっている。MENU、▼、一、十ボタンのどれかを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される</li> <li>●表示仕様に記載以外の周波数が入力されている。MENU、▼、一、十ボタンのどれかを押すと「H.V FREQUENCY OVER RANGE」のメッセージが表示される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ●キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。</li> <li>→ ●パソコン本体の設定を「標準表示仕様」に記載されているものに変更してください。</li> </ul>	<p>11 パソコン 本体の取 扱説明書</p> <p>19 パソコン 本体の取 扱説明書</p>
「CHECK SIGNAL CABLE」のメッセージが点滅表示される	→ ●ディスプレイケーブルが正しく接続されていない	→ ●ディスプレイケーブルをパソコン本体に正しく接続してください。	4、11 パソコン 本体の取 扱説明書

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
画像が揺れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電磁波を発生しているものが本製品の近くにある</li> <li>●電波を発生しているものが本製品の近くにある</li> <li>●本製品の近くに他のディスプレイを設置している</li> <li>●本製品の近くに送電線がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ●通常考えられるのは、扇風機、蛍光灯、レーザープリンター、テレビ受像機、ACアダプタなどです。これらの機器から離して設置してください。</li> <li>→ ●本製品近くで携帯電話、トランシーバー等の電波を発生する装置を使用すると、画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。携帯電話、トランシーバー等の使用をやめるとおさまります。</li> <li>→ ●本製品を他のディスプレイから離して、干渉を防いでください。</li> <li>→ ●送電線から距離を離すか、シールド板を本製品のそばに置いてください。</li> </ul>	—
画面が少し暗い	→ ●映像信号の入力レベルを1.0Vに設定している	→ ●映像信号の入力レベルの設定を0.7Vにしてください。	10
色がずれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源を入れた状態で本製品の向きを変えた</li> <li>●金属板の上に本製品を置いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ●本製品の電源を切り、10～15分程度の間隔をあけて入れ直してください。自動デガウス（消磁）*が行われます。</li> <li>→ ●金属板が着磁していると色ずれがおこります。本製品を金属板から離してお使いください。また本製品の電源を切り、10～15分程度の間隔をあけて入れ直してください。自動デガウス（消磁）*が行われます。</li> </ul>	—

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
画像がちらつく	→ ● パソコン本体側のリフレッシュレートが最適でない	→ ● パソコン本体側のリフレッシュレートを最適になるように設定してください。	19 パソコン 本体の取 扱説明書
波模様や点状の模様（モアレ）が出る	→ ● 画面の広い面積にわたり、平行線を並べて表示している場合、または2～3ドットおきのドットを格子状に配置して表示している場合、モアレが発生しやすくなる	→ ● メニュー画面でモアレが目立たなくなるように調整してみてください。調整によっては画像が揺れる場合がありますが、故障ではありません。最適になるように調整してください。	10
文字がボケる	→ ● モアレ調整を効かせ過ぎている	→ ● メニュー画面のモアレ調整で文字がボケない程度に調整してください。	10
電源を入れた直後に「ブーン」という音がある	→ ● 自動デガウス（消磁）* 回路が動作している音で故障ではありません	——	—

\*：自動デガウス

本製品は電源投入時にブラウン管にかかる磁界の最適化を自動的に行います。画面の表示色に異常がある場合は本製品の電源を切り、10～15分程度の間隔をあけてから電源を入れ直して、自動デガウス（消磁）を行ってください。また、ブラウン管は地磁気の影響も受けますので、本製品の電源を入れた状態で向きを変えると、画面表示の一部が変色する場合があります。この場合も同様に作業を行ってください。

## ☆ お問い合わせ先 ☆

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

### \*故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

#### ■「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・フリーダイヤル 0120-422-297
- ・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

[個人のお客様]

#### ■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・フリーダイヤル 0120-950-222
- ・お問い合わせ時間 24時間・365日対応

### \*技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

#### ■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・フリーダイヤル 0120-950-222
- ・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。  
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

## ☆ 仕様 ☆

- ・ 入力信号                   映像信号： アナログ 0.7V<sub>p-p</sub>（正極性）入力インピーダンス 75 Ω  
同期信号： セパレート方式   (H/V): TTL レベル（正／負極性）
- ・ 表示仕様               水平周波数 30kHz ～ 70kHz  
垂直周波数 50Hz ～ 120Hz
- ・ 表示色               フルカラー  
（注 1）               標準色設定：9300k/6500k
- ・ ブラウン管           15 型，90 度偏向，短残光，ドットピッチ 0.28mm，  
ノングレア，低反射，帯電防止コーティング
- ・ 信号コネクタ       15 ピンミニ D サブコネクタ（直だしケーブル）
- ・ チルト台           チルト調整：下 5 度～上 15 度   スィーベル調整   左右 90 度
- ・ 電   源           AC100V   50/60Hz
- ・ 消費電力           最大消費電力   ： 約 75W  
省   電   力   時   ： 約 3.3W  
電源スイッチ「オフ」状態の消費電力   ： 0W
- ・ 寸法，質量       幅 363mm × 高さ 374mm × 奥行き 393mm，約 12.0kg
- ・ 使用環境           温度   5℃ ～ 35℃  
湿度   10% ～ 90%（ただし結露のないこと）
- ・ その他の機能       VESA   DDC1/2B 対応

注 1：装置間で若干の色合いの違いがあります。

調整する場合：『OSD の操作方法』を参照してください。



## ☆標準表示仕様★

### ・標準表示仕様 [工場設定表示モード]

工場で設定済みの表示モード（10 種）は、以下に示すとおりです。

表示モード	解像度 (ドット)	表示寸法 (mm)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性	インタレース/ ノンインタレース
①	640 × 400	270 × 202	31.5	70	(-/+)	ノンインタレース
②	640 × 480		31.5	60	(-/-)	
③	640 × 480		37.5	75	(-/-)	
◎ ④	640 × 480		43.3	85	(-/-)	
⑤	800 × 600		37.9	60	(+/-)	
⑥	800 × 600		46.9	75	(+/-)	
◎ ⑦	800 × 600		53.7	85	(+/-)	
⑧	1024 × 768		48.4	60	(-/-)	
⑨	1024 × 768		60.0	75	(+/-)	
◎ ⑩	1024 × 768		68.7	85	(+/-)	

＋、－は、極性（水平同期信号／垂直同期信号極性）を表します。

◎は、推奨モードです。

### ・ユーザ設定メモリ

上記の工場設定表示モードの他に、10種類の表示モードとその調整値を記憶するメモリが確保しており、工場設定以外の表示モードと調整値が記憶されます。

10種類の表示モードと調整値が記憶されてメモリがいっぱいになると、次からは設定の古い順に消去されて書き換えられます。

表示画面において、同じ解像度なら高い周波数での表示画面が見やすくなります（フリッカーがより少ない）。したがって、パソコン本体の設定を、◎の各表示モードが出力されるように設定してください（推奨モード）。

（パソコン本体説明書を参照してください。）

本製品は、上記モードに対し自動的に水平・垂直周波数に同期して、表示することができます。

画面サイズ、位置などが適切に画面表示されない場合は、OSD調整画面により画面調整を行ってください。

標準表示仕様以外のモードで表示した場合に、OSD調整画面による画面調整が適切に行えないことがあります。

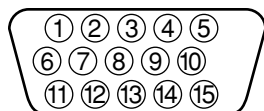
# ☆ディスプレイケーブル★

## D-SUB 信号入力コネクタ

- ・仕様（品名） 15 ピンミニ D-SUB コネクタ（オス）
- ・端子配列表

ピン番号	信 号	ピン番号	信 号	ピン番号	信 号
①	R（映像）	⑥	アース	⑪	アース
②	G（映像）	⑦	アース	⑫	SDA
③	B（映像）	⑧	アース	⑬	水平同期
④	アース	⑨	開放	⑭	垂直同期
⑤	アース	⑩	アース	⑮	SCL

- ・端子配列図





## 環境への配慮のお知らせ



本製品は、旧通商産業省の設置する産業構造審議会 廃棄物処理・再資源化部会の作成した、「再生資源の利用の促進等に資するための製品設計における事前評価マニュアル作成ガイドライン」(平成6年7月)に準拠して、機器のリサイクルに適した設計を行っています。

本製品の所有者が事業主の場合、本製品の廃棄時は産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処理業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社では「富士通りサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ <http://eco.fujitsu.com/jp/> の「富士通りサイクルシステム」をご覧ください。

なお、法人・企業以外のお客様は、お申し込みできません。

本製品の構成部材(プリント板、シャーシ)には、微量の重金属(鉛、クロム)や化学物質(アンチモン)が使用されています。使用済み製品を廃棄される場合は、上記のようにリサイクルにご協力ください。

個人のお客様が本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。

受付窓口の電話番号、お申し込み方法などについては AzbyClub ホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

---

## **FMV** シリーズ

カラー CRT ディスプレー 15 (FMV-DP849V)

オンラインマニュアル

B5FY-5531-01 Z0-00

発 行 日 2004 年 11 月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU